

代表質問事項一覧

3月 2日 (月)

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 2日 (月)	高田 (市政会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 第六次大野市総合計画と人口減少対策について</b></p> <p>本年1月に定められた第六次大野市総合計画後期基本計画と改訂された大野市人口ビジョンに関して、下記の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前期基本計画に掲げた24項目の施策について、令和6年度末までの4年間の評価の総括を行い平均評価点は64.8点であったと報告を受けたが、この評価点をどのように受け止めているのか。また後期基本計画にどのように反映されたのか。</li> <li>○ 令和6年9月に市民に対して行った、まちづくりへの意識調査結果をどういった点で計画に反映し、また令和8年度予算に反映されたのか。</li> <li>○ 新たな視点として「ウェルビーイングの向上」「ジェンダーギャップの緩和」「シェアリングエコノミーの推進」を取り入れたとのことだが、どのような施策展開を考えているのか。</li> <li>○ 大野市人口ビジョンを改訂したが、改訂前の目標達成状況と市の施策の総括を伺う。また人口ビジョンに掲げた目標人口達成に向けて、何を重点化していくのか。</li> </ul>
			<p><b>2 公共施設の運営方針について</b></p> <p>人口減少と施設の老朽化に対応し、施設管理費の削減と持続可能な行政サービスの両立を図るため、公共施設の最適化などに取り組んでいるが下記の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大野市公共施設再編計画の進捗(しんちよく)状況はどうか。また、市民から不安の声が上がっている施設の再編にどのように取り組んでいくのか。</li> <li>○ 公共施設LED照明導入業務として、令和7年度には4施設に導入し、令和8年度には11施設の導入を計画されているが、導入施設ごとの管理経費の削減はどのくらいになるのか。併せて、すでに導入した4施設の令和8年度予算における削減額を確認する。</li> </ul>
			<p><b>3 観光の産業化の現状と今後について</b></p> <p>令和3年度から始まった第六次大野市総合計画前期基本計画において「観光業」を位置付け、市は観光の産業化を進めてきた。また、観光業のけん引役として、株式会社平成大野屋と一般社団法人大野市観光協会を統合し、一般財団法人越前おおの観光ビューローが設立され、市は評議員や理事の就任、職員の派遣や資金支援などを行ってきた。</p> <p>中部縦貫自動車道の県内全線開通は人の交流や物流の拡大などにより、事業拡大や観光消費額の増大を図るビジネスチャンスであるが、市の対応について下記の点について伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問（第1日）／2日（月）	高田（市議会）		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまで取り組んできた観光資源の磨き上げの効果をどう捉えているのか。また、観光誘客に結び付けていく手法とその取り組みをどう考えているのか。</li> <li>○ これまで、まちなかエリアの天空の城越前大野城、六呂師高原周辺エリアの日本一美しい星空、和泉エリアの九頭竜恐竜・化石、道の駅「越前おおの荒島の郷」の4つを、本市において事業者が収益を得る場所（キャッシュポイント）として観光消費額増大を図るとしてきたが、その効果と課題、今後の方針は。</li> <li>○ 市長は提案理由の中で、新年度から観光交流課観光企画グループが平成大野屋洋館で業務を行うことで、関係団体や民間事業者との連携を一層強化すると述べた。 市長は今回の方針転換の狙いをどう考えているのか。また、いつまでにどのような成果を上げるのか、具体的な目標設定は。</li> </ul>
		一括質問・答弁方式	<p><b>4 18年をつなぐ教育について</b></p> <p>市教育委員会では、学びと成長の連続性を保障するため、幼・小・中・高が連携する「結・協議会」を核に、18年をつなぐ教育を強化するとし、教育長の所信表明においても一層強化していくとしていることから、下記の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状（成果と課題）をどのように捉えているのか。</li> <li>○ 県立高校における令和8年度一般入学試験において、大野高校、奥越明成高校ともに出願者数が定員割れしている現状をどのように捉えているのか。また、両中学校における進路決定に向けてどのような対応を行っているのか。</li> </ul>
			<p><b>5 休日の部活動の地域移行と地域展開への発展について</b></p> <p>教育長の所信表明の中で、本市の休日の部活動の地域移行については、昨年度中に地域クラブへの移行を完了したとのことだが、下記の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国が位置付ける「改革実行期間」、国が定める「部活動及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」とは何か。</li> <li>○ 市は令和8年度からどのような体制で地域展開への発展を進めていく予定か。</li> <li>○ 部活動の地域移行を受け入れた地域クラブからは、どのような要望が上がっているのか。また毎年、クラブに対する支援が減ってきており、いずれなくなるのではないかとの声もあるが、市独自の支援も含めた見解は。</li> <li>○ 平日は学校教育で部活動を行い、休日は社会教育で部活動を行っている環境である。平日は教育者による指導、休日は指導者による教育と言ってもおかしくはないことから、教育者と指導者の連携、またはコミュニケーションをどのように考えているか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) ／2日(月)	猪嶋 (大野市民の会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p> <hr/> <p>3期目を目指すと表明された石山市長の政治姿勢について、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石山市長がこれまでに組み込まれたさまざまな施策を振り返り、あらためて自身の自己評価について、どのように思っているのか。</li> <li>○ 令和8年度の予算編成について、本市の財政状況は決して豊かなものではないが、このような状況の中、こういった点に重きを置いて予算編成したのか。</li> <li>○ 3期目に挑戦するに当たって、どのようなことを課題と捉え、大野市政を運営していきたいと考えているのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 2日 (月)	高岡 (もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長の政治姿勢について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 財政改革について経常収支比率が改善されないのはなぜか。また改善に向けての取り組みは、目標年度をどうして定めないのであるか。</li> <li>○ 不納欠損、長期滞納が改善されていないが現状と対策は。</li> <li>○ 人件費・物件費・公債費は増加傾向にあるが現状をどう見るか。</li> <li>○ 基金取り崩し額が多くなっている当初予算はいかなる考えからか。</li> <li>○ 自主財源増収に向けての取り組みはどうか。</li> <li>○ 市職員・会計年度任用職員数が人口の割には多いが、今後の考えは。</li> <li>○ 市職員の早期中途退職・長期休暇人数が近年多い傾向にあるがいかなるものか。</li> <li>○ 利上げにより生じてくる市債利率が変動であれば負担増になるが、今後の対応はどうか。</li> <li>○ 補助金・支援金を見直していると聞き及んでいるが、現状はどうか。</li> <li>○ 人口減少に伴い空き家・特定空き家が増加傾向にあり、空き家が管理されない物件が多くなってくるが、持ち主に対して消防面だけでなく倒壊による安全対策はどのような指導をしているのか。</li> <li>○ 非常備の消防団員が充足されていない現状をどのように考えているのか。</li> <li>○ 地区の自警団等の組織が減少傾向にあると聞き及んでいるが、地区防災組織とどのような連携を取っているのか。</li> <li>○ 避難訓練等を地区ごとにお願していると思うが、消防本部との関わりをどのように持っているのか。</li> <li>○ 緊急非常時に使用するAEDの設置箇所と個数はどうか。</li> <li>○ 多くの森林を抱える大野市の山林火災対策はどのようなになっているのか。</li> <li>○ 商店街振興を精力的に支援と言っているが、次々と商店街振興組合が解散閉鎖している現状をどう考えているか。</li> <li>○ 来訪客増加、インバウンドに備えてと言っているが、来訪客並びにインバウンドの宿泊キャパの確保はできているのか。</li> <li>○ 大野の名所にはタブレット設置で外国語表記説明を見られるとのことだが、そこまで足を運ぶための紙ベースでの外国語表記の観光ガイドは作成されているか。</li> <li>○ 行政の観光に対する最も重要な事業は、個々の個人事業主ができない市外・県外からの来訪客誘致だと思うが、現状進行している事業計画等は。</li> </ul>

令和8年3月 第449回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) / 2日(月)	高岡(もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商店街において事業継承は大きな問題だが、どのような支援・指導を行っているのか。</li> <li>○ 市街地の観光名所を周遊するモデルルート of 構築などの仕掛けが必要だと考えるが、どのような取り組みをしていくのか。</li> <li>○ 市所有の観光施設の費用対効果をどのように考えているのか。</li> <li>○ 民間と市民との協働事業を行っていくとのことだが、民にどれだけ受け入れられているのか。成功例はあるのか。</li> <li>○ 市が行っているイベント、巨木フォーラム、城まつり、冬物語等の経済効果や人的効果はどうか。</li> <li>○ 農業振興でおおの型農業・農村ビジョンをうたって数年たつが、本市におけるコメ・ソバ・ムギ以外の特選野菜にはどのようなものがあるのか。その作付面積はどうか。</li> <li>○ 特産であるサトイモの作付けが近年落ち込んでいると聞くが、現状と後継者育成はどうなっているのか。</li> <li>○ 過年度、阪谷地区を有機農業モデル地区として農業支援をしてきているが、その成果と現状は。</li> <li>○ 耕作放棄地が増えているようだが、その対策と他の田んぼ等への影響はどうか。</li> <li>○ 小規模農家の所得を上げると言っていたが、平均どのくらい上がっているのか。</li> <li>○ 農業後継者の育成にはどのような取り組みをしているのか。</li> <li>○ 社会資本充実について、道路舗装、用水、排水の老朽化が目立っているが対策はどうか。</li> <li>○ 国県道及び市道に係る橋りょう等の老朽化対策はどうなっているのか。</li> <li>○ 林道整備の進捗(しんちよく)が遅いように思われるが今後の対策は。</li> <li>○ 下水道整備が進んでいる現状において加入率はどうか。特に市街地での加入促進が進んでないように思われるが、下水道使用料金が投下資本よりかなり少ないのではと危惧するがどうか。</li> <li>○ 公共下水道へ農業集落排水を接続することについて、維持管理の効率を考えて行うべきと考えるがどうか。</li> <li>○ 本市の河川流量低下が顕著であると同時に、河川の水枯れが発生するというような事案があるがどうか。 また流量低下による住民の消雪が進まない現状をどのように考えるか。</li> </ul>

令和8年3月 第449回 大野市議会定例会

日	質問者	質問方式	質問概要
代表質問 (第1日) ／2日(月)	高岡(もえぎ会)	一括質問・答弁方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市が抱える産業団地の売却期限が迫っているがどうか。また、すでに売却済みに建設されている企業の雇用はどうか。 また、本市が所有する売却できる土地の処分の進捗はどうか。</li> <li>○ 人口減少対策の移住定住対策の成果と転出減対策はどうか。</li> <li>○ スポーツ振興において、各種スポーツ人口の減少が進んでいるように思うが、現状と対策は。</li> <li>○ 生涯スポーツの17教室と参加人数はどのようになっているのか。</li> <li>○ 地区スポーツ協会を脱退する区が多くあると聞き及んでいるが、市の対応と現状打開策はどうか。</li> <li>○ 武道振興について、本市は剣道と聞いているが、小・中学校や他のスポーツ団体での活動や人数はどうか。</li> <li>○ 公共交通でスクールバスと市内循環バスとの効率の良い連携は考えていないのか。</li> <li>○ 学校教育の場で不登校児童・生徒の現状、いじめの現状、発達障害と思われる児童・生徒の現状と対応策は。</li> <li>○ 小・中学校でタブレット端末を使用して更新時期まで迎えているのにも関わらず教科書全科持参しているのはなぜか。</li> <li>○ 中学校卒業からの進学先・就職先についての指導はどうなっているのか。</li> <li>○ 選挙における投票率の低下対策として移動式投票車等を導入しているが現状はどうか。</li> <li>○ 市美展への出品がかなり減ってきている現状をどのように捉えているのか。また美術倶楽部やサークルへの支援等を行っているのか。</li> <li>○ 中学校の部活動の地域移行について文化・芸術・音楽についてはどうか。また小学校の金管バンドがなくなっているが楽器等はどうか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (1日) / 2日 (月)	笹山 (大野市民の会)	一問一答方式	<p><b>1 免許返納後も安心して暮らせる移動保障の確立</b></p> <p>高齢者の免許返納後の移動手段確保について、市の中心部から離れる地域ほど不安の声がある。実際に「昼間はなんとかなるが、夜はどうにもならない」「家族が急病になったらどうすればいいのか」といった声を直接伺っている。</p> <p>これまでライドシェア実証実験や事業者への補助など努力されてきたことは大変評価している。しかし、休日・夜間や緊急時という「最後の一手」が空白になっている現実がある。「いざという時に移動できる」という安心がなければ、地域で暮らし続ける選択はできないと考える。</p> <p>来年度の課題として、公共交通体系の最適化の検証、交通事業者との調整や担い手確保に加え、休日・夜間・緊急時の移動確保を明確な検討項目として追加すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p> <p><b>2 イベント補助の制度設計と上限額の妥当性</b></p> <p>稼ぐ力応援事業において稼ぐ力の向上につながるイベントなどに対する補助が予算措置されたことは評価する。市民活動の重要性を行政が再認識された結果であると受け止めている。</p> <p>一方で、今回の制度は上限15万円とされている。この金額がどのような積算根拠で設定されたのか、関係団体や主催者の意見を十分に聴取した上での水準なのか、その点が明確ではないと感じる。</p> <p>補助に過度な依存をすべきではないことは理解している。しかし、物価高が続き、資材費や人件費、光熱費などが上昇している厳しい社会情勢の中で、それでもなお「大野を元気にしたい」と自ら動き出してくださる市民の存在は、まちにとって大きな財産である。その前向きな挑戦を後押しする姿勢こそ、今求められているのではないか。</p> <p>イベントは単なる催しではなく、「地域内の交流促進」「新しい世代の挑戦機会」「外部からの来訪者増加」「まちのにぎわい創出」といった複合的な効果を持つ。しかし実際の運営費は、会場費、保険料、警備費、音響設備費、人件費などを含めると一定の規模を超える場合もある。物価高の影響もあり、これまで以上に負担が重くなっている現実がある。</p> <p>15万円で十分に機能するののかという疑問の声もある。少額を広く配分することが必ずしも公平であるとは限らず、挑戦継続を可能にする設計こそ重要であると考えます。</p> <p>まちを思い、自ら動こうとする市民をどう支えるのかという視点から、制度の在り方を再検討する必要があるのではないかと。そこで以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上限額の設定根拠は何か。</li> <li>○ 関係者へのヒアリングを実施したのか。</li> <li>○ 今後の上限金額の見直し可能性について市の見解は。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（1日）／2日（月）	笹山（大野市民の会）	一問一答方式	<p><b>3 「想定外」に備える防犯灯補助制度の創設について</b></p> <p>近年、市内において公共施設の見直しが進み、建物の統廃合や解体・移転が行われている。財政の持続性や施設の老朽化への対応として必要な取り組みであることは理解している。しかし、その過程で、これまで夜間に照明があった場所が急に暗くなるという事例が発生している。</p> <p>施設そのものは役割を終えたとしても、そこに設置されていた照明は、結果として周辺道路の安全にも寄与していた。実際に「学校が近接している」「通学路になっている」「バス停が設置されている」といった場所で、夜間の暗さに対する不安の声を伺っている。さらに、市内でクマなどの鳥獣害への対応も課題となっている。</p> <p>暗がりには心理的な不安を増幅させるだけでなく、安全対策の観点からも看過できない。</p> <p>補助制度に一定のルールが必要であることも理解している。しかし、今回のように想定外の環境変化が生じた場合、それは従来の制度設計では十分に対応できない事例ではないか。</p> <p>制度は平時を前提に設計されることが多い。しかし安全対策は「想定外」にこそ備える必要がある。現場では、住民が不安を感じながらも、基準に該当しないために設置が進まないという状況が生まれている。</p> <p>防犯は事件や事故が起きてから対応するものではない。未然に防ぐことこそが行政の責務であり、そのためには一定の柔軟性が求められるものであると考える。</p> <p>そこで以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共施設の解体等に伴う突発的な環境変化に対応できる、一定の柔軟性を持った防犯灯補助制度、あるいは予備的な対応予算枠を設ける考えはないか。</li> </ul>
			<p><b>4 指定管理者制度について</b></p> <p>現在、市では外部評価の実施に向けて、「指定管理者制度モニタリング指針」の改定作業を進めていると伺っている。指定管理者制度がより適切に運用され、市民サービスの向上につながっていくことを期待している。</p> <p>その中で、今回の外部評価の対象施設は、公募により指定管理者を選定した施設及びその他市長が必要と認める施設とされるとのことである。</p> <p>公募施設と非公募施設では選定方法に違いはあるが、いずれも市民サービスを担う公の施設であることに変わりはない。評価の範囲をどのような考え方で整理されたのか、その背景が気になるところである。</p> <p>そこで以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部評価委員会を設置する目的は何か。</li> <li>○ 対象施設を公募により指定管理者を定めた施設のみに限定し、非公募施設を対象外とした理由は何か。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第1日）／2日（月）	笹山（大野市民の会）	一問一答方式	<p><b>5 旧蕨生小学校グラウンド跡地のホテル建設について</b></p> <p>旧蕨生小学校グラウンドの跡地におけるホテル建設については、発表から一定の時間が経過している。当初は期待される事業として話題になったと記憶している。その後、具体的な情報があまり伝わってこないことから、地元の中では「現在どのような状況にあるのか」と気に掛ける声もあるようである。</p> <p>大きな事業であればあるほど、進捗の有無にかかわらず、状況を共有していくことが地域の安心につながるものと考えます。</p> <p>計画にはさまざまな調整や条件整理が必要であることも理解しているが、現時点でどの段階にあるのかを確認する。そこで以下の点について伺う。</p> <p>○ 運営会社との協議状況を含め、現在の進捗（しんちやく）状況について、市として把握している内容は何か。</p>

一般質問事項一覧

3月 3日（火）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) / 3日(火)	白崎(市政会)	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市民スポーツ大会について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度をもって廃止する方針が出された市民スポーツ大会について、廃止するに至った経緯について伺う。</li> <li>○ 市民スポーツ大会の廃止によって、各地区が実施しているスポーツ大会等への影響はないのか。</li> <li>○ 今後、各競技の普及や競技力の向上、健康増進に対して、市としてどのように考え、どのように対応していくのか。</li> </ul>
			<p><b>2 おおのヘルスウォーキングプログラムについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまで実施してきた「おおのヘルスウォーキングプログラム」について、どのような成果を上げているのか。また、その成果をどのように評価しているのか。</li> <li>○ おおのヘルスウォーキングプログラムは、これまでと何が変わるのか。また、何を目標として実施するのか。</li> <li>○ 総事業費について、令和7年度5,403万6,000円から令和8年度2,080万8,000円と大幅に減額となっているが、その理由について伺う。</li> </ul>
			<p><b>3 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上に関して、令和8年度の新規事業として、稼ぐ力応援事業では「稼ぐ力の向上につながるイベントなどに対する補助」、稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業補助では「民間事業者が実施する観光コンテンツ開発に対する補助」があるが、それぞれどのような取り組みを想定して実施する事業なのか。</li> <li>○ インバウンド誘客促進事業では、外国人観光客の誘客促進に取り組むとしているが、中部縦貫自動車道の県内全線開通後の外国人観光客入り込み数はどれくらいを目標としているのか。</li> <li>○ ふるさと納税推進事業の新規事業で実施する「ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで集まった資金をもとに、返礼品提供事業者に対して生産力向上につながる設備投資などを補助する事業」の詳細な取り組み内容について伺う。</li> <li>○ 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上については、「令和11年春に予定する中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、人や物の流れや生活環境が変わることを想定し、産業ブランド力の強化や観光誘客の推進など、地域や事業者の稼ぐ力の向上に取り組む」とあるが、これらの事業に取り組んでいくことで、大野市の未来像をどのように描いているのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／3日（火）	木戸屋（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 稼ぐ力の向上について</b></p> <p>令和8年度当初予算案説明資料の重点項目に、「高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上」として、産業ブランド力の強化や観光誘客の推進など、地域や事業者の稼ぐ力の向上に取り組むための主な施策が掲げられている。</p> <p>これまでも取り組んできたことでもあるが、さらに力点を置き、戦略的に、継続的に、横断的に、官と民とで融合的に、視野を広くしながら強化していかなくてはならないと考える。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「稼ぐ力応援事業」として約1,248万円が計上されている。臨時事業として新たな産業戦略を策定するとなっているが、この産業戦略が実効性があり効果的なものとなるために、特に力を入れる点は何か。</li> <li>○ 稼ぐ力の向上につながるイベントなどに対して補助を新設する案を提示しているが、具体的にどのようなイベントが予想されるのか。</li> <li>○ インバウンド誘客促進事業では具体的にどのようなことに取り組んでいくのか。ハード面とソフト面の両方の説明を求める。</li> </ul> <p><b>2 小学校給食費完全無償化などの給食運営と図書館運営について</b></p> <p>2月20日に開催された本会議での市長の提案理由の説明で、「新年度から小学校の給食費を完全無償化する。国の給食費負担軽減交付金を活用し、補助基準額を超える分は市が負担して、給食の質を確保しながら保護者の負担をなくす。中学校は、食材費の高騰分を市が負担することで、保護者の負担の抑制を継続していく」と述べられている。</p> <p>また、学校給食の公会計化を実施するとなっている。</p> <p>学校読書の推進の一環として、学校司書配置事業の予算案約208万円が計上されている。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校の給食費の完全無償化とは、具体的にどのような取り組み方で実施するのか。</li> <li>○ 中学校の給食費の食材費の高騰分の負担とは、どのような算定方法で計算していくのか。</li> <li>○ 学校給食の公会計化は、具体的にどのような事務を一括して教育委員会事務局が担うのか。</li> <li>○ 学校司書は、どのような業務を行うのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／3日（火）	木戸屋（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	<p><b>3 市民協働による住民自治について</b></p> <p>昨年2月から4回にわたり「市民協働による住民自治検討委員会」が開催され、10月に「市民協働によるこれからの住民自治の方針」を決定し、その概略の報告があった。</p> <p>全国的な課題として、人口減少、高齢化、支援機能の低下などの課題が生じる中で、地域の暮らしを守る手立ての改革が必要である。本市においても、将来を見越した住民自治の在り方を、まだ余力のある現段階で検討し、組織を整えていくことは重要であると考えます。</p> <p>そこで、次の点について質問をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ステップ1は、各地区の「地域運営組織の設立」であるが、どのような手順で地域運営組織を立ち上げていくのか。</li> <li>○ ステップ2で「活動拠点の位置づけ」として、(仮称)地域交流センターへの拡充とあるが、現在ある公民館との違いは何か。</li> <li>○ ステップ3で「活動の展開」とあるが、市はどのようなことで活動を継続的に支援していくのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／3日 (火)	山崎 (清風会)	一括質問・ 答弁方式	<p><b>1 高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の向上について</b></p> <p>○ 中部縦貫自動車道の全線開通に向けて、観光地としての展開とスケジュールについて伺う。</p> <p><b>2 給食費無償化について</b></p> <p>○ みんなが喜ぶおいしい給食事業については非常に評価できるが、中学校においても無償化することで効果が表れてくると思うが、保育所も含めた市の見解を伺う。</p> <p><b>3 給水体制について</b></p> <p>○ 全国で災害等が発生している中、先般あわら市においてバン型給水車が導入されたが、本市においての現況とこれからの展開を伺う。</p>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／3日（火）	野村（無党派）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 物価高対策について</b></p> <p>家計直撃の「物価高」について、1月23日に発表された去年1年間の全国の消費者物価指数は、天候による変動が大きい生鮮食品を除いた総合指数が前の年より3.1%上昇した。物価高対策を国が行うことは大事であるが、市として市民の生活を守る対策が何かできたのではないかと考えている。</p> <p>令和7年9月の一般質問において、物価高に対する考えについて質問した「コメ販売価格高騰についてどのように考えているのか」に対して「販売価格については市が関与できるものではないと認識しており、現在、国が需要見通しの見直しなどを進めていますので、その動向を注視してまいります」との答弁であった。これでは市民の生活は知りませんとの姿勢と受け止められかねない。「市としてこのような支援を行う」の答弁が必要だったのではないかと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対策の一つに「越前おおのプレミアムうぐPay」があるが、その利用率、購入された方の年齢層はどうであったのか。</li> <li>○ 市民1人当たり1万円の「地域応援商品券」を発行し、65歳以上には5,000円を上乗せして家計や事業者を支援するという一方で、デジタル通貨を使えない市民も利用できるようになったことは良いことだと思うが、今の物価高を考えるとさらなる増額が必要ではないかと考えるが、市の見解は。</li> <li>○ 政府は生活保護世帯に2026年10月から1年間、生活保護費加算を1人当たり月1,000円上乗せするとしているが、物価高の影響が大きく、とても1,000円では足りると思えない。市独自の支援ができないのか。</li> </ul> <p><b>2 文化活動について</b></p> <p>文化会館は、文化会館の在り方の検討を進めていた中で、突然の方針変更により廃止することとし、その後も市長は市民に寄り添う姿勢を見せず、職員に丸投げしてきたことが不評を買ったのではないかと考える。</p> <p>特に、文化会館に関する説明会では途中で退席したが、市長が自ら説明責任を果たし最後まで市民の意見を聞くべきであったとし、議会は「申入書」を市長に提出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今、釈明・陳謝なりの市民に寄り添う姿勢を示すことが求められているのではないかと考えるが、市長の思いは。</li> <li>○ 文化会館閉館後の代替施設の対策、備品設置や補修を利用者の要望がかなうように、また早急に進めることが求められている。補修内容や補修期間、補修の間の活動の場はどう対応するのか。 また、市民・利用者には丁寧に説明することが必要と考えるが、今後の予定を聞きたい。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問 (第2日) ／3日(火)	野村(無党派)	一括質問・答弁方式	<p><b>3 小学校グラウンドの芝生化整備について</b></p> <p>有終南小学校グラウンドの芝生化工事では、機械設備工事・電気設備工事について当初の設計が増額変更され、また地中に工事の支障となる障害物があり、新たに購入した土砂で埋め戻しすることになり工事費が増額となった。 このことについて設置者として市長の考えを聞きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 増額分の費用負担について、有終南小学校校庭芝生化実行委員会との協議はどのような内容であったのか。</li> <li>○ 地中にあった障害物の責任は誰にあると考えるのか。</li> <li>○ 増額になった費用は設置者である市が責任を負うべきではないかと考えるが、市の見解は。</li> <li>○ 市内他の小学校グラウンドの芝生化は、市が責任持って行うべきではないかと考えるが、市の見解は。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第2日）／3日（火）	廣瀬（市政会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 小・中学校の施設改修について</b></p> <p>小・中学校の施設改修については、令和4年3月に策定された小中学校施設管理計画で、下庄小・開成中・陽明中の改修を令和5・6年度に、有終南小・富田小の改修を令和7・8年度に、有終西小・有終東小の改修を令和9・10・11年度に、上庄小の改修を令和11・12・13年度に、和泉小の改修を令和13年度に行うと明記された。</p> <p>そして、令和5・6年度に開成中・陽明中の改修工事が実施されたが、体育館の改修は見送りとなった。</p> <p>それから、令和7年1月に小中学校施設管理計画が改訂され、有終西小・有終東小・上庄小・和泉小の改修については、人件費や物価の高騰による改修工事費の上昇、中学校の体育館改修や小・中学校体育館の空調機器整備の必要性など、経済情勢や取り組みの優先度を勘案し進めていきますと改められた。</p> <p>その後の昨年3月議会では、令和7年度の当初予算案に、有終西小の雨漏り対策の校舎改修に係る事前調査費が計上された。</p> <p>そして、今議会の市長提案理由では、「中学校2校については、体育館の長寿命化工事と併せて、生徒の熱中症対策、そして災害時の避難所としての活用を見据え、空調設備の設置工事を行う」と述べられ、令和7年度大野市一般会計補正予算（第9号）案の第3表繰越明許費補正で4億2,487万円が計上された。</p> <p>また、先日の予算特別委員会で「今後の小学校の体育館の空調整備については、国の交付金の対象となる令和15年度までに、統合校を優先して行う」という答弁があった。</p> <p>以上のことを踏まえ、以下の2点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有終西小の雨漏り対策の校舎改修に係る事前調査を行った結果、どのようなことが分かったのか。その結果を受けて、どのような対策を行うのか。</li> <li>○ 今後、小学校の体育館の空調整備と有終西小・有終東小・上庄小・和泉小の施設改修をどのように進めていくのか。</li> </ul>
			<p><b>2 こどもをまち全体で支える取り組みについて</b></p> <p>今議会の教育長所信表明の中で、「新年度、児童・生徒が読書の楽しさを感じ、知的好奇心を育むことができるよう、市内全ての小・中学校に学校司書を配置します」として、当初予算案に学校司書配置事業208万円が計上された。</p> <p>また市長提案理由の中で、「学校給食費については、新年度から小学校の給食費を完全無償化します。中学校の給食費は、食材費の高騰分を市が負担することで、保護者の負担増の抑制を継続していきます」として、当初予算案にみんなが喜ぶおいしい給食事業1億7,561万円が計上された。</p> <p>以上の件について、以下の2点について質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校司書配置事業208万円の詳しい事業内容は。</li> <li>○ みんなが喜ぶおいしい給食事業1億7,651万円の詳しい事業内容は。</li> </ul>

一般質問事項一覧

3月 4日（水）

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／4日（水）	梅林（もえぎ会）	一括質問・答弁方式	<p><b>1 市長の目指す大野市と令和8年度予算案</b></p> <p>○未来を拓く大野っ子が健やかに育つまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者交流拡大促進事業（新規）予算額191万円。事業の詳細と予算の内訳を伺う。</li> <li>・ ウェルビーイングな学校づくり推進事業（旧魅力ある学校づくり推進事業）予算額314万1,000円。事業の詳細、予算の内訳を伺う。</li> </ul> <p>○ウォーターPPPについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新年度予算に計上されている臨時事業の上水道のウォーターPPP導入可能性調査費2,000万円と下水道のウォーターPPP導入可能性調査費2,000万円は、いずれも国庫補助100%である。 この調査を実施し導入に向けた検討をするとのことだが、本市の上下水道事業の現状を踏まえた上でウォーターPPPの導入に向けた検討をする理由とその目的を伺う。</li> <li>・ 国庫補助2,000万円の根拠を伺う。</li> <li>・ ウォーターPPPを導入した場合、市民にどのようなメリットがあるのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／4日（水）	岸本（大野市民の会）	一問一答方式	<p><b>1 18年をつなぐ教育の将来ビジョンについて</b></p> <p>教育長の所信表明の中で、非課税世帯やひとり親家庭への大学受験料・模試受験料の助成が打ち出された。これは教育の機会均等の観点から極めて重要であり、率直に評価する。</p> <p>また、幼・小・中・高をつなぐ「18年をつなぐ教育」も、学びの連続性を保障する大きな挑戦である。</p> <p>評価の先にある本質的な問題について、4点質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 18年をつなぐ教育の最終到達点とは何か。</li> <li>○ 教育施策と産業政策はどこで統合されているのか。教育分野と産業分野の連携施策はあるのか。</li> <li>○ 教育は未来への投資であるが、その投資が市外流出という結果で終わるのか、地域の成長として還元されるのか。理念ではなく具体的な数値目標と実行戦略があるのか。</li> <li>○ 今回の大学受験料・模試受験料の助成は、教育投資の観点から持続されるのか。</li> </ul>
			<p><b>2 使用料改定による令和8年度当初予算への反映について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和8年度当初予算の歳入は使用料金改定後の金額で積算されているのか。</li> <li>○ 使用料改定による年間増収見込み額は幾らか。</li> <li>○ 使用料が改定された施設の利用者への影響はあるのか。</li> <li>○ 増収がある場合は、何に充当しているのか。</li> <li>○ 市民及び来訪者の負担増を伴う料金改定を行った以上、財政的効果について説明が必要と考えるが見解は。</li> </ul>
			<p><b>3 化石魅力体験施設管理運営経費について</b></p> <p>市長提案理由の中で、本年度の化石発掘体験センター（ホロッサ）利用者数は約8,000人と、前年度比1.5倍に増加したと報告されており、これは大変喜ばしい成果であり、関係者の努力に敬意を表する。一方で、令和7年7月には施設使用料の改定が行われ、ホロッサでは使用料金が中学生以下は510円から700円へ、高校生は820円から1,100円へ、一般は1,020円から1,350円へと大幅な引き上げがなされた。また、和泉郷土資料館においても入館料金が300円から400円へと改定されている。</p> <p>利用者数は増加し料金も引き上げられ、当然使用料収入は大幅に増加しているはずである。しかしながら令和8年度当初予算では、両施設の管理運営経費を統合した「化石魅力体験施設管理運営経費」2,219万4,000円は、令和7年度の両施設の管理運営経費の合計1,851万1,000円から368万3,000円増額されていることに疑問を感じ、3点質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者1.5倍増という成果は、令和8年度予算編成にどのように反映されたのか、また、使用料収入の増額見込みはいくらで計上しているのか。</li> <li>○ 歳出内訳を見ると、委託料は減額される一方で報酬・職員手当・共済費が大幅に増額されている。これは外部委託型から直営強化型への政策転換と理解しているのか。</li> <li>○ 事業統合の目的と、これらの施設を今後どのように位置付けるのか。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／4日（水）	伊東（市政会）	一問一答方式	<p><b>1 障がいのある方が地域で安心して暮らすための相談支援体制について</b></p> <p>障がいのある方やその家族が地域で安心して暮らし続けるためには、身近で総合的な相談支援体制の充実が不可欠である。複雑化・多様化する課題に対応する中核的な相談機能の強化が求められている。</p> <p>そこで、5点にわたって質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基幹相談支援センター設置の狙いと、現在の相談支援体制における課題は。</li> <li>○ 運営主体はどこが担うのか。また本センターの人員体制やどのような専門職を配置するのか。</li> <li>○ 設置場所の考え方と、当事者や家族が相談しやすい環境づくりは。</li> <li>○ 本センターの設置により、当事者や家族にとってどのような改善が期待されるのか、市の見解は。</li> <li>○ 本センターの周知の方法、及び地域関係機関との連携体制は。</li> </ul> <p><b>2 子育て世代の経済的負担軽減に向けた保育支援の充実について</b></p> <p>物価高騰が続く中、ゼロ歳児から2歳児の保育料負担は重く、子育て世代の大きな不安要因となっている。</p> <p>第1子からの無償化は、少子化対策を後押しし、若者に選ばれるまちづくりにつながる重要な施策である。併せて保育環境整備も必要である。</p> <p>そこで、4点にわたって質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本市におけるゼロ歳児から2歳児の保育料算定の仕組みと段階区分、対象児童数（第1子・第2子別）は。</li> <li>○ ゼロ歳児から2歳児の保育料を第1子から無償化した場合の市財政負担は。</li> <li>○ ゼロ歳児から2歳児保育料の第1子からの無償化は、子育て世代の負担軽減にとどまらず、若者に選ばれる自治体づくりにつながる重要な政策であると考えますが、市の見解は。</li> <li>○ 紙おむつサブスクリプションの導入について、市の見解は。</li> </ul>

日	質問者	質問方式	質問概要
一般質問（第3日）／4日（水）	林（市政会）	一問一答方式	<p><b>1 和泉地域交流センターを中心とした地域づくりについて</b></p> <p>公民館を地域づくりの拠点と位置付け、「地域運営組織の設立」「活動拠点の位置づけ」「活動の展開」を行う住民自治の方針が昨年10月に示された。市は、部局横断的な体制で地域課題や情報を共有し、地域運営組織の活動や運営を支援するとあるが、そのモデル地区となる和泉地区の取り組みについて質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和泉地区の活動の現状は。</li> <li>○ 設置から5年が経過した同センターが果たしてきた役割と、設置目的にある「住民と市の協働」に欠かせない視点は何か。</li> </ul>
			<p><b>2 各種施策への合理的配慮の提供に向けて</b></p> <p>政府広報によると、障害者差別解消法は行政機関や事業者に対して、障がいのある人への障がいを理由とする「不当な差別的取扱い」を禁止するとともに、障がいのある人から申し出があった場合に、負担が重すぎない範囲で障がい者の求めに応じ合理的配慮をするものとしている。</p> <p>ここでいう「障がい者」とは、障害者手帳を持っている人だけでなく、障がいや社会の中にあるバリアによって、継続的に日常生活や社会生活に相当な制限を受けている全ての人を対象とし、また、個人事業主やボランティア活動するグループも「事業者」に含まれるとのこと。</p> <p>そこで質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「合理的配慮の提供」を社会全体に浸透させるため、市の取り組み状況は。</li> <li>○ 市が率先して施設管理（例えば、多目的トイレ周辺の障害除去）やイベント時に合理的配慮の提供（例えば、越前おおの冬物語における輝センター活用）を検討、実施してもらえないか。</li> </ul>
			<p><b>3 働きがいある職場環境とハラスメント防止に向けて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市及び出先機関、教育委員会（学校）におけるハラスメント防止の現状と、被害者からの相談体制は。</li> <li>○ 大野市議会では、令和5年6月議会において大野市議会基本条例と大野市議会政治倫理条例を改正し、議員、市職員の個人としての尊厳を守るルールを設定した。市として特別職を対象に加えたハラスメント防止条例を制定する予定は。</li> </ul>